

踏み跡 < My mountains >

北都留	扇山、百蔵山	No.018
-----	--------	--------

扇山(1137.8m) 鳥沢駅の真北に座す扇型をした山。中央線に乗った人なら一度ならず眺めているだろう。権現山(1311.9m) 扇山から浅川峠をはさんで北側に立っている。北に流れる鶴川をはさんで奥多摩の笹尾根と向かい合っている。

百蔵山(1003.4m) 猿橋駅の北東、奇勝猿橋のすぐ上の山である。

この三つを合わせて、山梨県の北都留にあるところから、「都留三山」と呼んでいる。奥多摩の南部にあり、大菩薩山塊の東部に長く伸びる牛の寝の尻尾になる山だが、地理的分類が難しいため、便宜上「北都留」という区分名称を使ってみた。

昭和38年5月18日
恩田と二人、0時05分新宿発の臨時列車(岡谷行)で出発。

1時56分四方津(しおつ)で下車。

寒い駅舎内で食事をしていると、駅員が火鉢を持ってきてくれた。人情のぬくもりも加えてゆったり食事の後、4時45分に出発。

目指すルートの取り付き

点の犬目部落に向かうべく大野貯水池への道をたどる。途中で雨が降ってきた。犬目から荻丸への取り付き点が不明瞭な上、雨が強くなってきたため藪こぎを途中でやめ、表登山道の鳥沢へ出ることにした。

鳥沢駅8時00分、食事を取り、8時45分出発。正面からアタック開始。8時半を過ぎてしまったため、一番列車で来た人たちと一緒にしまった。幅の広い道でハイカーも多く、騒々しいので途中から東の肩に出るべく藪こぎに入ったところ、驚いたことに後ろから数人のグループがくっついてくる。地図も持っていない彼らは、前を行く我々二人をいつまでも追ってくる。こっちは好きでわざわざ広い道を避けて藪こぎをしているのに、彼らは前の人についていけば頂上にたどり着けると思い込んでいるようだ。藪が深くなるにつれ、急な登りになるにつれ、彼らと我々との間には距離が開いていった。

扇山頂上に10時50分に到着。彼らの姿が見えなかったから、おそらく途中で引き返したのだろう。昼食と大休止。どんな景色が見えたのかメモが残っていないが、時々雨が降っていたので多分何も見えなかったと思う。12時出発。扇山から西へ、百蔵山を目指す。

百蔵山13時30分、5分の小休止ですぐに下山。猿橋駅着15時25分。待ち時間は少なく15時39分発に乗ることができ、新宿着17時30分。

曇り時々雨で、景色に恵まれなかったせいか、ノートの記録も脳の記憶も希薄な旅だった。

以上

(修正・更新:2023年9月)

